



# 鶏 鳴

2011年3月13日(第45号)

## イエスの言葉

『あなた方の中で偉くなりたい者は皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者はすべての人の僕（しもべ）になりなさい』

聖書(マルコ福音書10章43、44節)

牧師 河合裕志

イエスの弟子のヤコブとヨハネが示し合わせてイエスのところにやって来た。彼らは兄と弟の兄弟同志。「先生、お願いすることをかなえていただきたいのですが」。「何をしてほしいのか」とイエスが聞き返すと彼らはズバリ言っていた。「栄光をお受けになるとき、わたしどもの一人をあなたの右に、もう一人を左に座らせてください」。

何ともよくも言ったもんだ。イエスが首尾よく大成功を収めたあかつきには私達を高いポストに着けて下さいと要求。これって弟子のすること？ 実に嘆かわしくない？ だって彼らは世の全てのものを捨ててイエスに従ったんじゃないの？ 金持ちになるとか高い地位に着くとか、こういった野心は捨てたんじゃないの？ それなのに今だにそうした熱情が動いている。

他の10人の弟子は無事だった？ そんなことはない。「ほかの10人の者はこれを聞いてヤコブとヨハネのことで腹を立て始めた」。このヤロー、俺達を出し抜く気か～。まったく1ダースそろって俗物ばかり。イエスはほとんど困り果てたことだろう。しかしイエスはなお彼らに望むところがあったよう。一同を呼び寄せて言い聞かせる。

『あなたがたも知っているように異邦人の間では支配者と見なされている人々は民を支配し偉い人たちが権力を振っている。しかしあなたがたの間ではそうではない』。こう言って冒頭の言葉を述べ更にこう締めくくった。『人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである』。

人の子（イエス）は人々に仕えるために来たよ、身を低くして僕（しもべ）のように人に奉仕するために。あんた方もそうしなさい。人を支配する者になりたい、権力を持つ者になりたい、上に立ちたい等と思うなよ。それよりはただひたすらに人の下に立って仕えること、その人の喜び、益となるように働くこと、これが何よりもカンジンだ。その結果高い地位に着くことになっても、トップに登りつめてもそれには反対しない。たとえ偉くなったとしても僕の思いは捨てちゃいけない。俺は偉いんだ、お前達はバカだと見下げちゃいけない。常に身を低くして人に仕えて行く思いを捨てちゃいけない…イエスの思いはこんなだったろう。せいぜい私達も身を低くして人に仕えていきたいもの。

### 案内

主日礼拝	: 毎日曜日午前10時15分
主日夕拝	: 毎日曜日午後6時
子どもの教会	: 毎日曜日午前9時
中高青年会	: 毎日曜日礼拝後
おしゃべり会	: 毎木曜日午前10時
聖書を学ぶ集い	: 第4水曜日午前10時